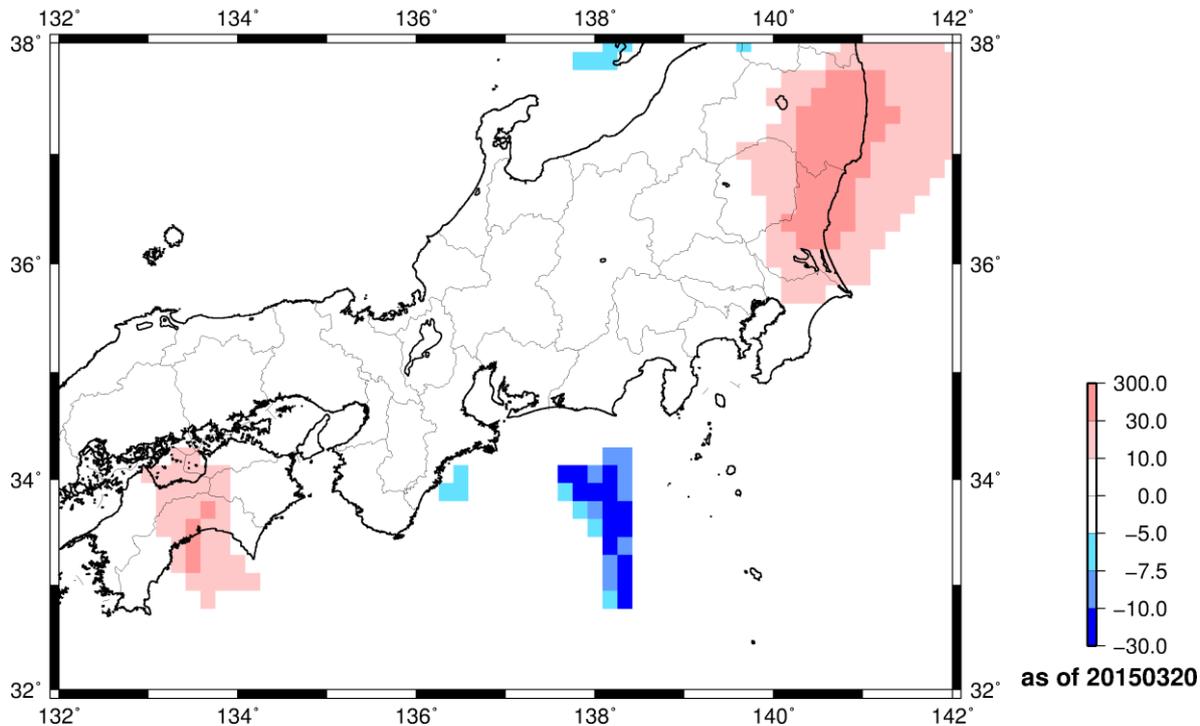


東海・中部・関西地方の地下天気図

東海地方から西の地域の地下天気図を作成いたしました。この解析では M7 クラス（阪神大震災や 2000 年の鳥取県西部地震）の前兆を効果的に抽出できたパラメータで解析しています。また東日本大震災の影響を強く受けているため、関東地方や新潟は解析精度が落ちていきます（関東地方については 3 1 1 以降のデータを使った解析を別途行って、ニュースレターとして提供していきます）。下の図は 2 0 1 5 年 3 月 2 0 日時点の地下天気図です。



茨城・栃木・福島県にかかる赤い領域は東日本大震災以降、まだ余震活動が活発である事を示しています。静岡県沖の青い領域は形が悪い（真の異常は、青い領域がより円形ないし楕円形になる）ので、深刻なものではないと考えています。

また以下の URL で過去 1 年間の上記地域の 1 ヶ月毎の地下天気図をアニメーションで示してあります。この期間では陸域で顕著に青い領域が広がる（つまり静穏化が続く）場所・時期は無い事がわかります。現在東海地方以西から中国・四国地方にかけてはすぐに阪神大震災のような地震に襲われる可能性はこの解析からは高くないと判断しています。

<http://www.sems-tokaiuniv.jp/tmp/tokai201503.gif>

なお、

\* ウィンドウズのインターネットエクスプローラー Ver.11

\* マッキントッシュのグーグルクローム では表示されますが、最後までうまくアニメーションが再生されない可能性があります。他のブラウザやシステムでアニメーションをご覧ください。

次回の情報では、首都圏を中心とした解析を実施する予定です。